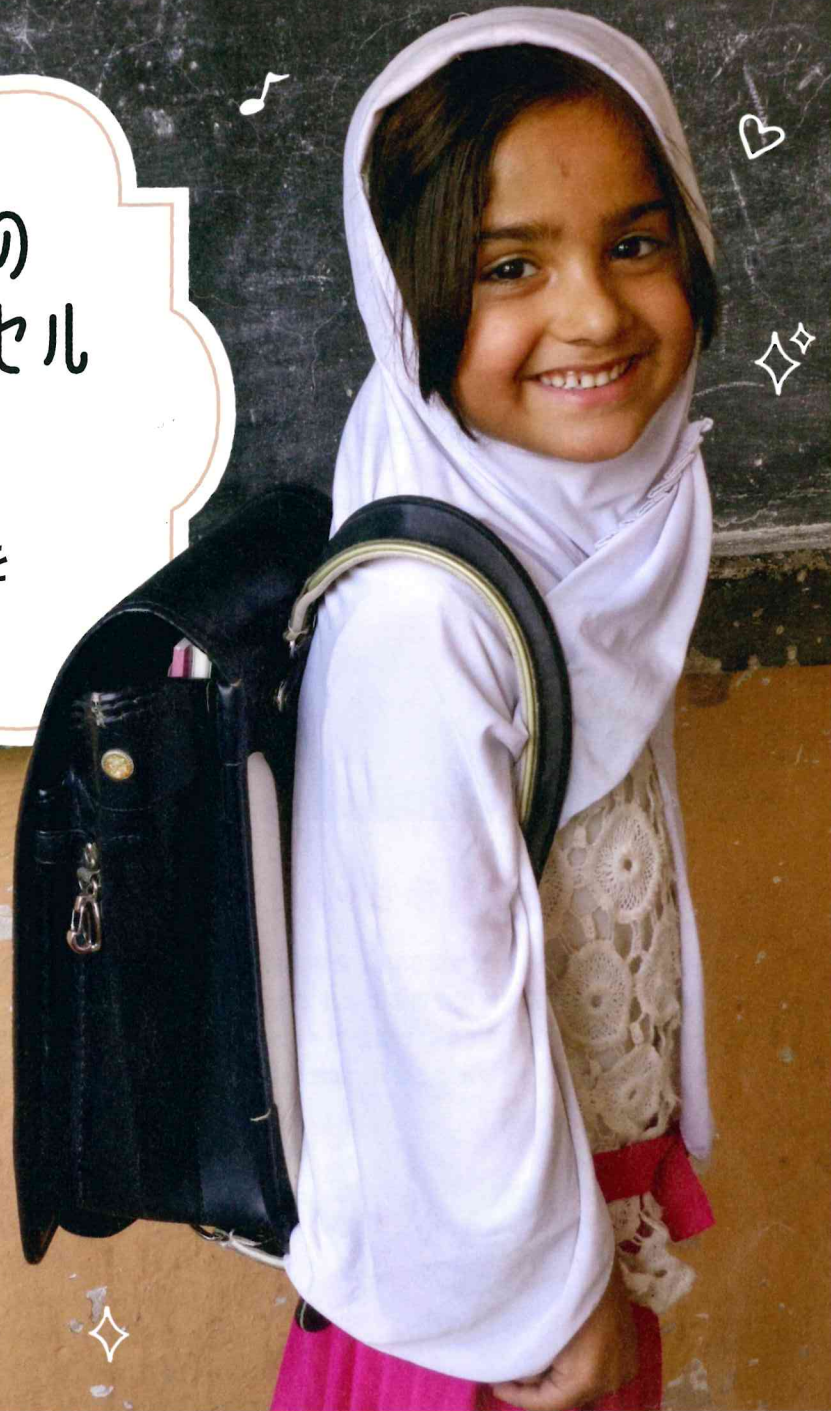


思い出の ランドセル ギフト

眠っているランドセルを
アフガニスタンの
子どもたちへ

貧しい村の女の子にも、
学校に通える幸せを。



アフガニスタンでは、紛争で多くの学校が破壊されました。
今でも青空教室で勉強している子どもたちがいます。

**子どもたちの教育を支援するため、
日本からランドセルを送りませんか。**

—— 2004年から約21万人のアフガニスタンの子どもたちにランドセルを手渡しています。 ——

詳しい送り方はウェブサイトを見てね!

ジョイセフ ランドセル

検索

思い出のランドセルギフト

Facebookページで最新の
情報をご紹介します。



お問い合わせ

公益財団法人ジョイセフ

✉ info@joicfp.or.jp ☎ 03-3268-5875

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館

女性・選択できる世界を。

JOICFP

www.joicfp.or.jp/rand



日本での役割を終えた ランドセルを送りませんか？



アフガニスタン

日本



険しく危ない山道を子どもたちは何時間もかけて、学校に通います。

ランドセルを背負うと両手が自由に使える危険な通学路を安心して通うことができます。



小学校を最後まで終える女の子は4割

アフガニスタンの女の子は男の子より教育を受ける機会が少なく、6割の女の子が小学校を卒業することができていません。

女の子と男の子が同じランドセルを背負って一緒に学校に通うことは、女性への偏見や差別を減らすことに役立ちます。ランドセルは女の子が学校へ行くための、きっかけ作りに役立っています。

12～13歳で結婚し赤ちゃんを産む少女が少ない

15～24歳の文字の読めない女性は68%。文字の読めない妊産婦は、妊娠・出産・育児に必要な保健や衛生の知識や情報を得ることができません。

文化的な理由から女性の医者でないと受診できない女性たち。ランドセルは両親が女の子の初等教育を認めてくれるきっかけとなり、女性のお医者さんと助産師・看護師・スタッフの育成にもつながります。



ランドセル
を受け取った
リマさん



9歳の時にノートとクレヨンが入ったランドセルをもらいました。それまではビニール袋で通っていました。とてもうれしくて毎晩抱いて寝ていました。ランドセルは今も大切に持っています。ランドセルを受け取った時、どんなことがあっても絶対勉強を続けようと思いました。今は医学部生です。アフガニスタンの人々に勉強して国のために働こう！と伝えたいです。私も必ず医者になって、アフガニスタンのために働くつもりです。

ランドセルをアフガニスタンに届けるためには**海外輸送費等の経費**がかかります。

1個につき1,800円の海外輸送費のご協力をお願いします。

郵便振替による
海外輸送経費の払込み先

- 1,800円 × 個数
- 郵便振替口座 00190-2-78370 口座名義 公益財団法人 ジョイセフ
※払込手数料免除口座 (ATMでは手数料がかかります。)
※通信欄に「ランド」と記載してください。
- クレジット / コンビニ支払いの方法は下に記載のジョイセフのサイトまで

ランドセルの送り先

〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町 4261-13
横浜貿易倉庫内サンライト「ジョイセフランドセル係」
※倉庫までの送料はご負担をお願いします。

ランドセルがなくても、
お金による支援の方法もあります。

詳しい送り方や支援の方法はウェブサイトを見てね!

ジョイセフ ランドセル

検索

www.joicfp.or.jp/rand